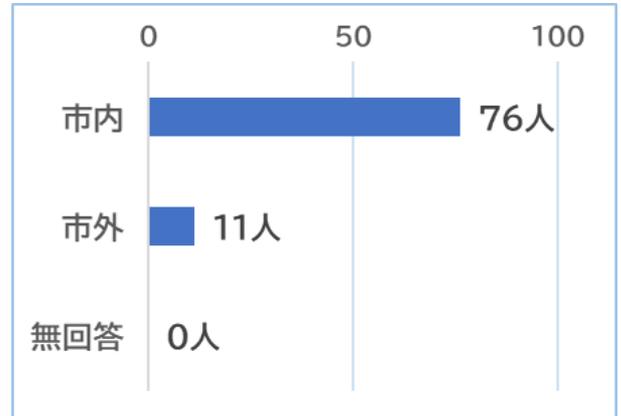
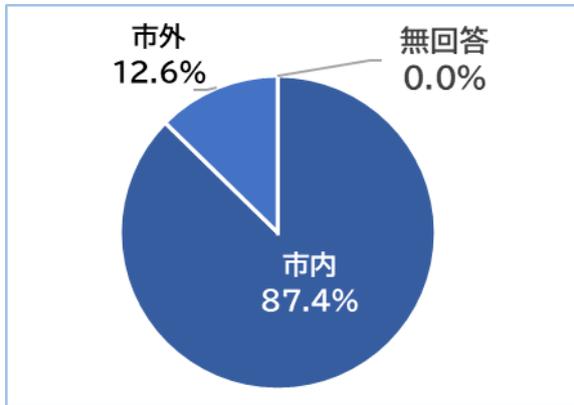


Ⅱ 調査集計結果

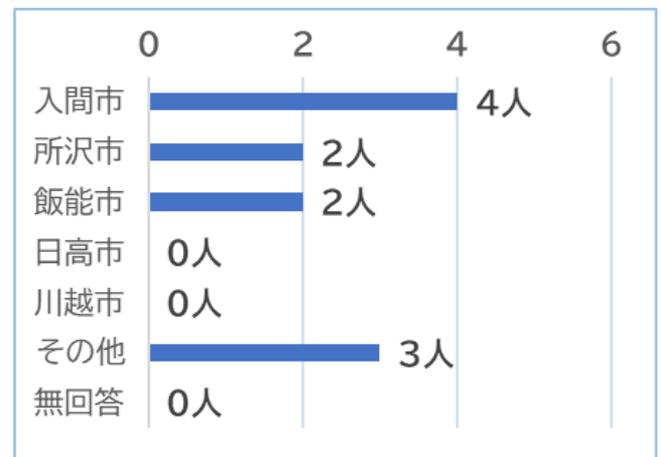
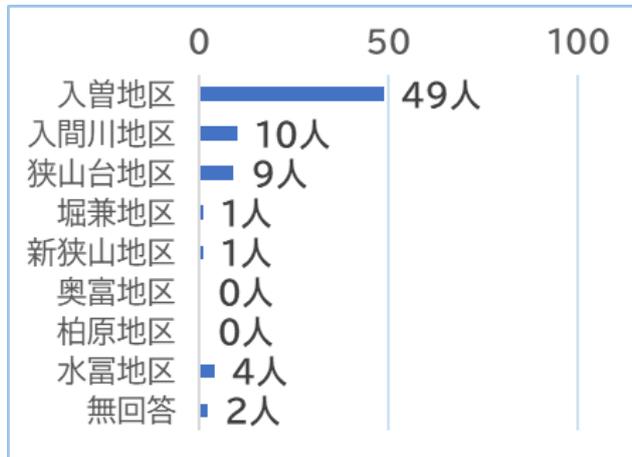
問1 回答者の属性、利用目的について

① 住まい



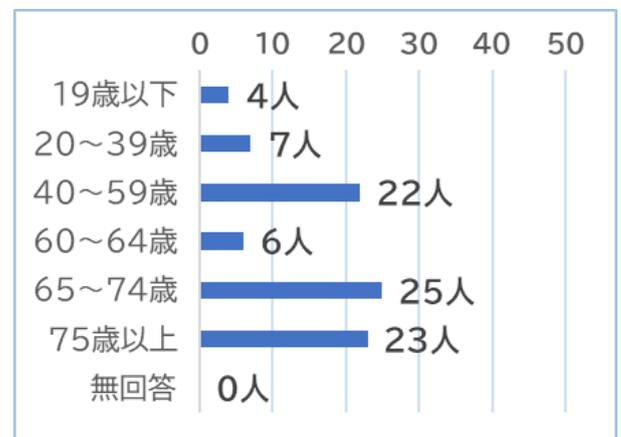
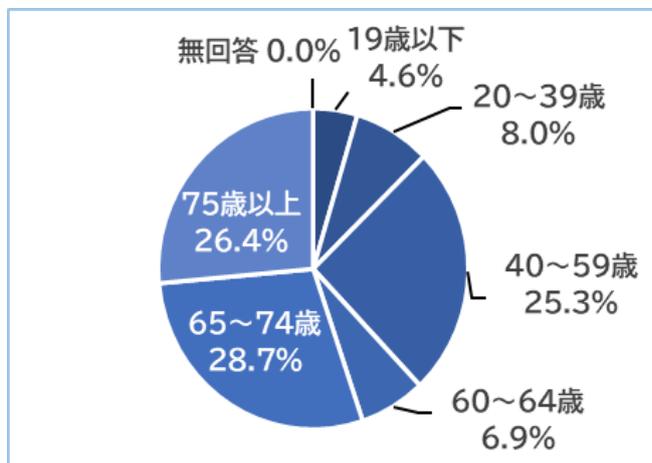
※市内の住まい内訳

※市外の住まい内訳



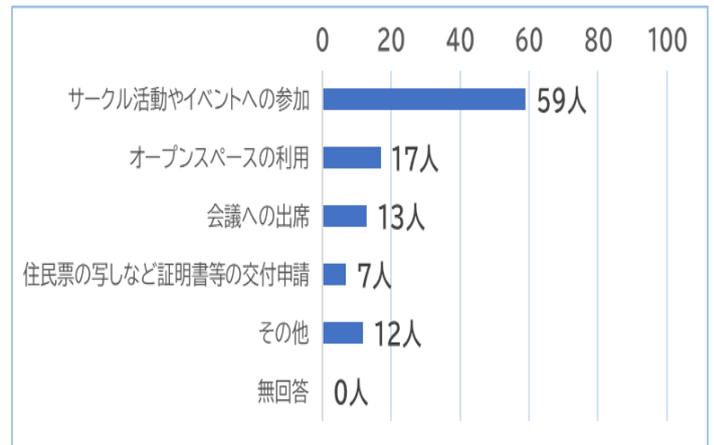
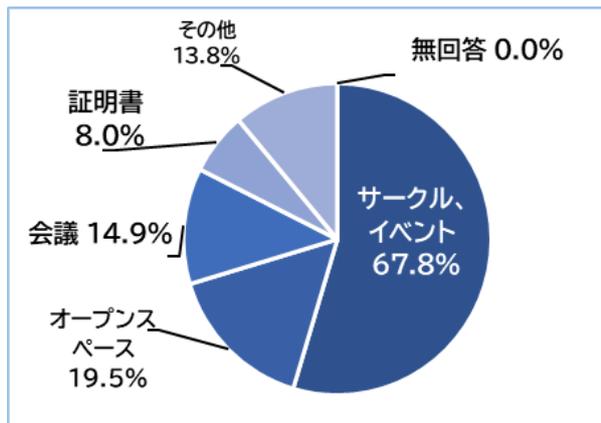
住まいについては、市内が87.4%その内、入曽地区の方は49人であった（全体の56.3%）。その他の地域としては、市内は入間川地区、市外は入間市が最も多かった。

② 年齢



回答者の年齢は、「65~74歳」が最も多く（28.7%）、回答者の約6割が65歳以上であった。

③ 利用目的（複数回答可）

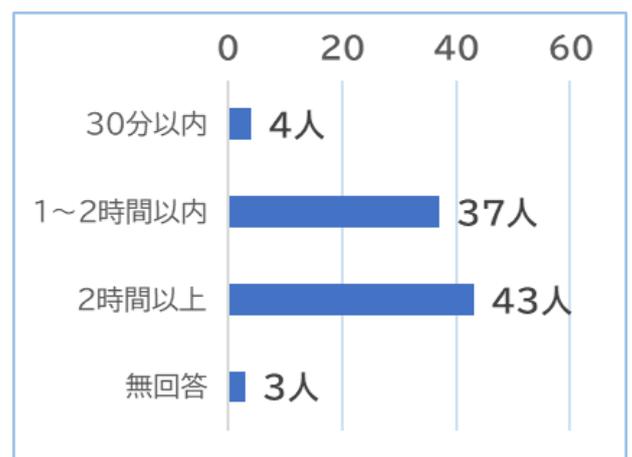
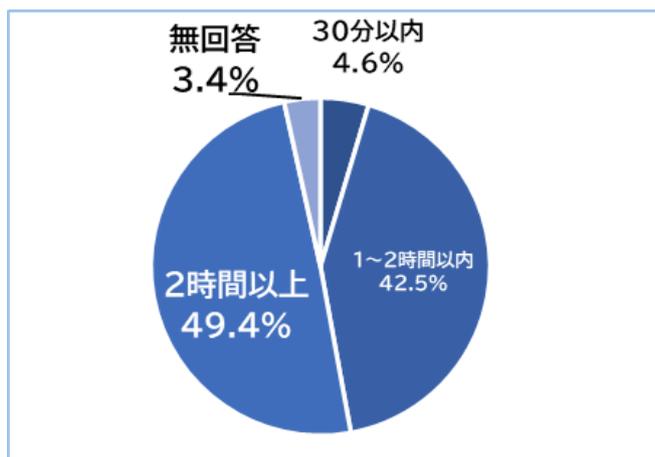


「サークル活動やイベントへの参加」が67.8%と最も多く、「オープンスペースの利用」が、19.5%、「会議への出席」が、14.9%と続く。

【その他回答】

・ダンス練習 ・楽器練習 など

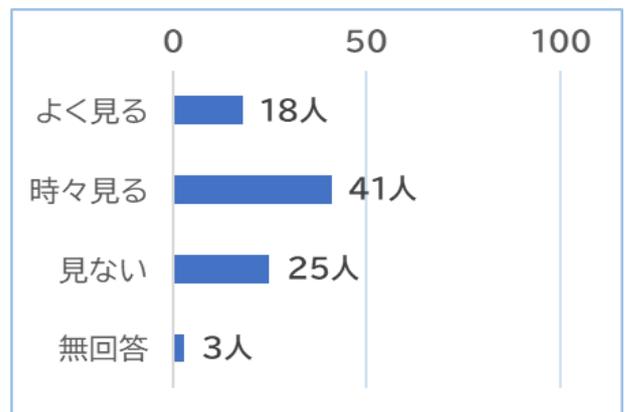
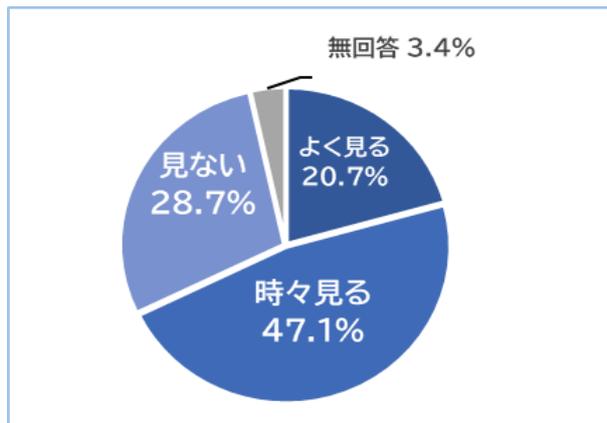
④ 利用時間



「2時間以上」49.4%、「1～2時間以内」42.5%となり、合計92.0%の利用者が1時間以上滞在している

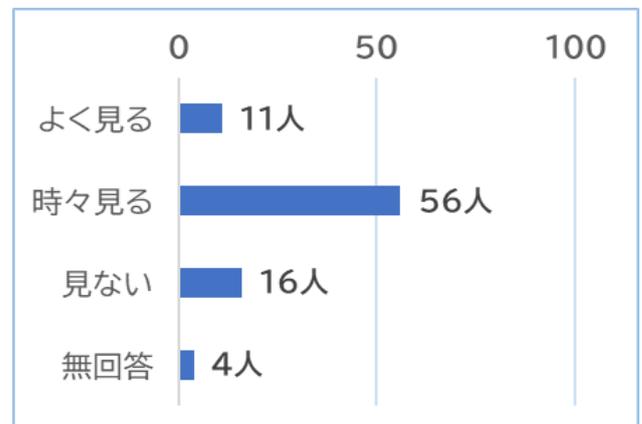
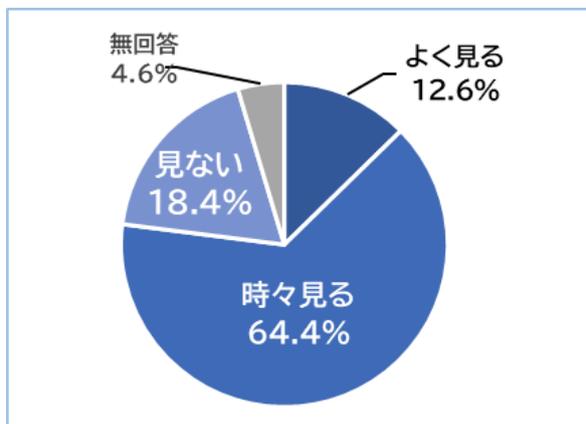
問2 広報や講座・イベントについて

① センターだより



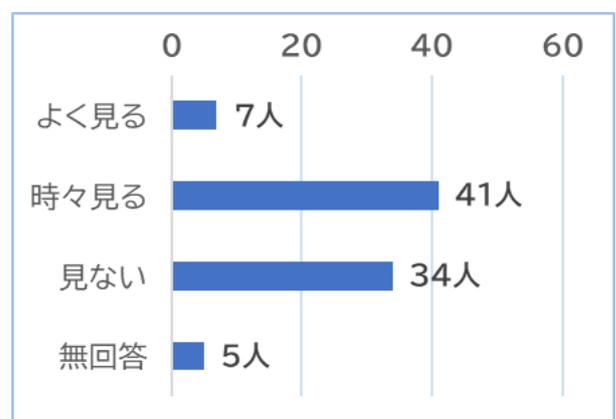
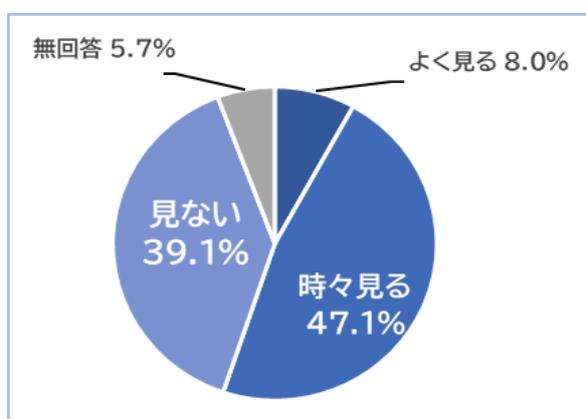
「よく見る」と「時々見る」を合わせて67.8% (59人) である一方、「見ない」は28.7%であった。

② チラシやポスター



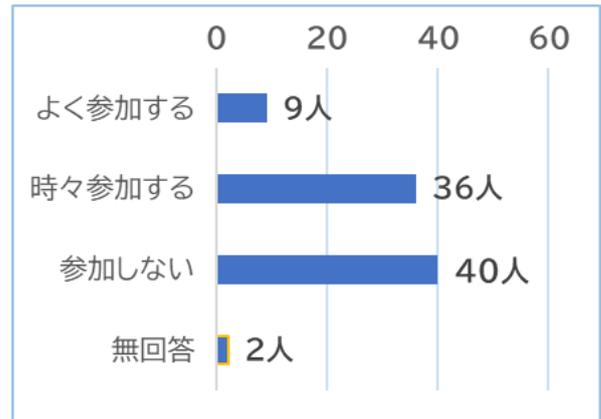
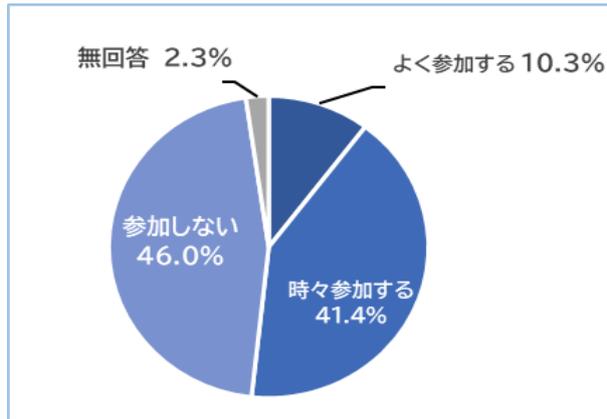
「よく見る」と「時々見る」を合わせて77.0% (67人) である一方、「見ない」は18.4%であった。

③ センターのホームページ



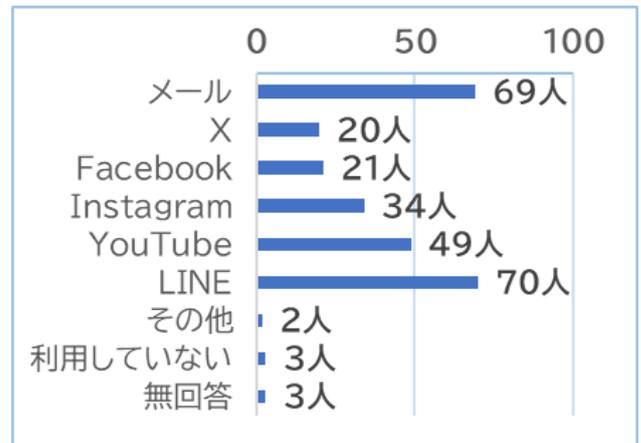
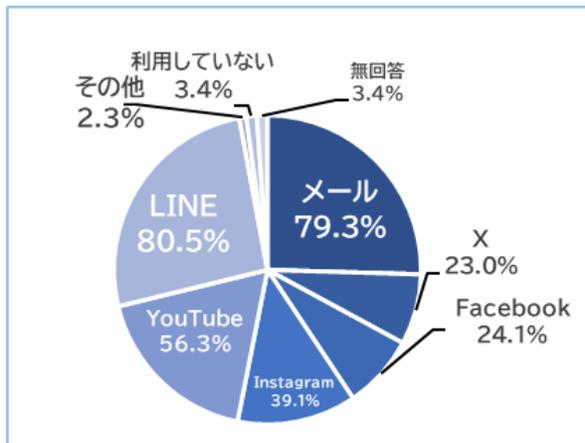
「よく見る」と「時々見る」を合わせて55.2% (48人) である一方、「見ない」は39.1%であった。

④ 講座やイベント



「よく参加する」と「時々参加する」を合わせて51.7%（45人）である一方、「参加しない」は46.0%であった。

⑤ 利用しているSNS等（複数回答可）

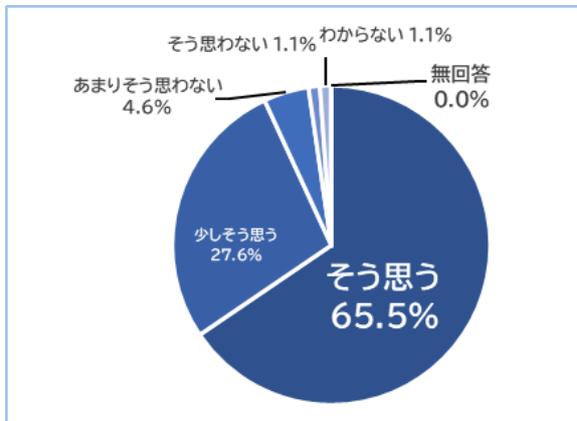


「LINE」の利用が80.5%で最も多くの利用がある一方で、「メール」79.3%、「YouTube」56.3%、「Instagram」39.1%、「Facebook」24.1%、「X」23.0%の利用があった。

問3 施設や設備、施設の利用、職員の対応について

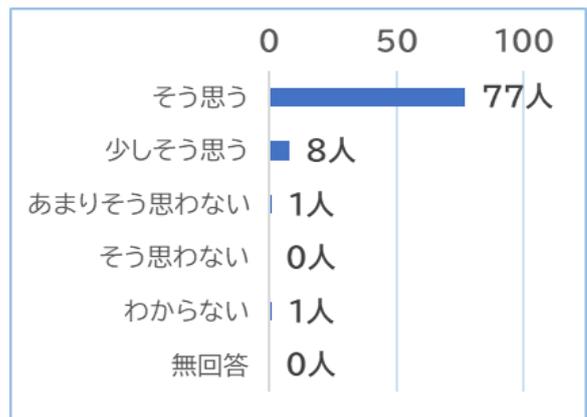
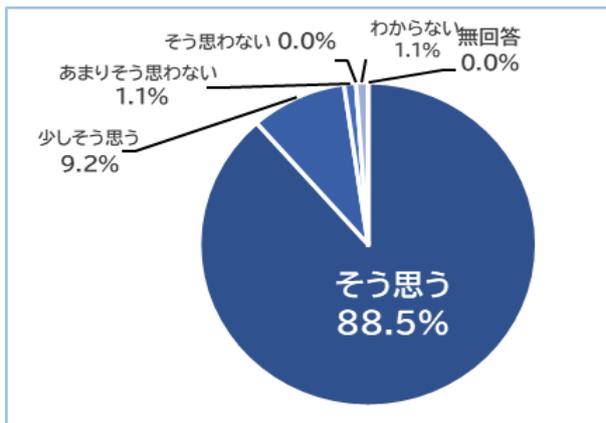
① 施設や設備について

ア 交流スペースなど、予約をしなくても利用できる場所があり、気軽に立ち寄れる



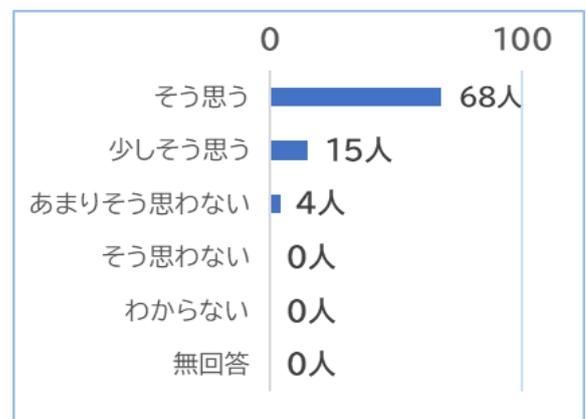
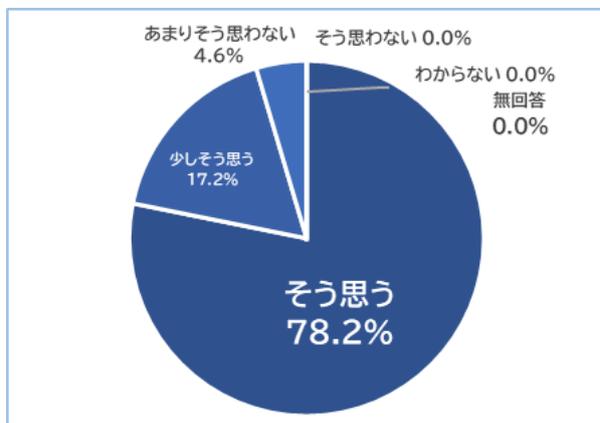
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて93.1%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は5.7%であった。

イ 共用部やトイレの清掃は行き届いている



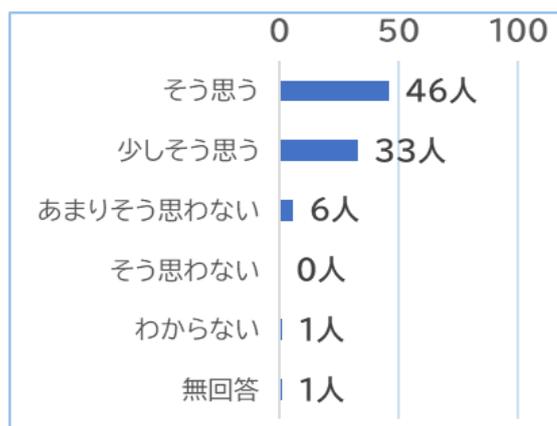
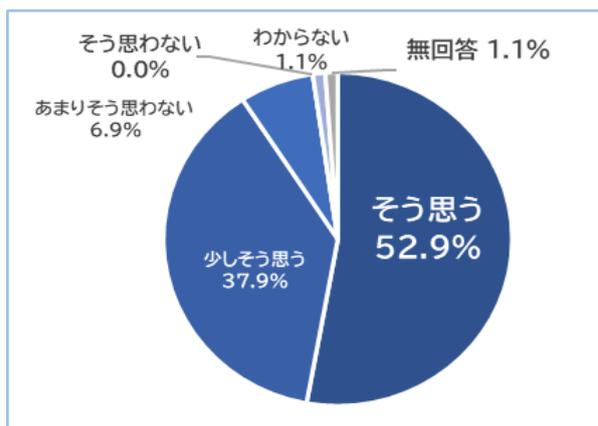
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて97.7%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は1.1%であった。

ウ 部屋の照明や空調は適切である



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて95.4%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は4.6%であった。

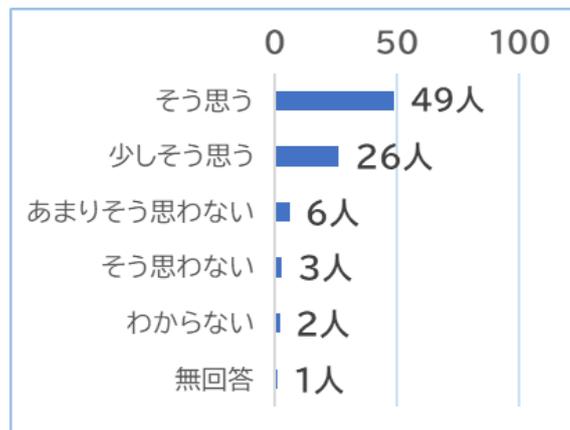
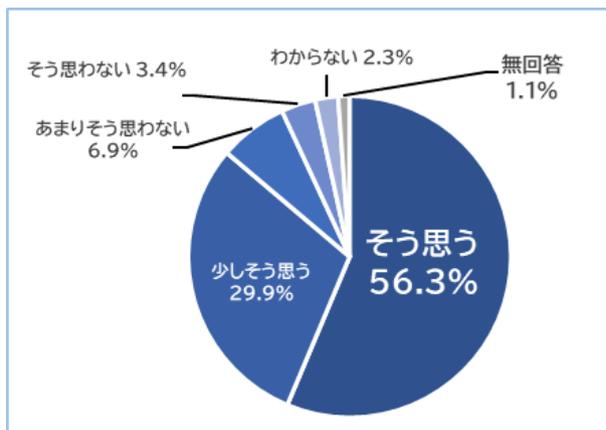
エ 設備や備品は充実している



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて90.8%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は6.9%であった。

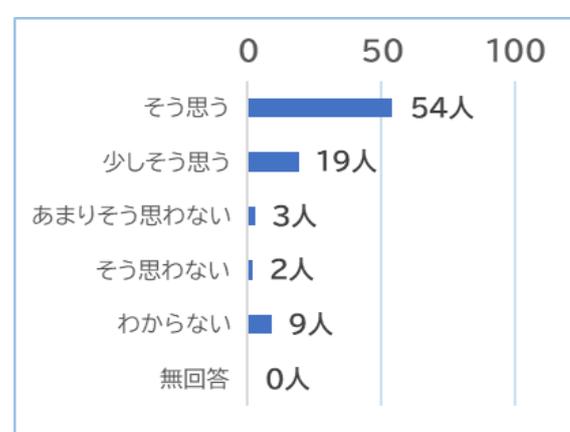
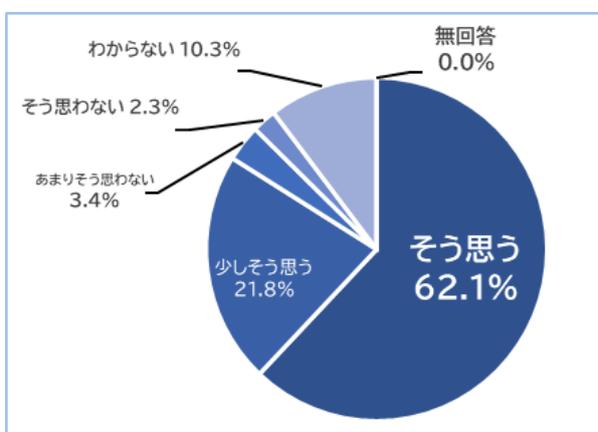
② 職員の対応について

オ 笑顔であいさつし、利用者を気持ちよく迎えている。



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて86.2%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は10.3%であった。

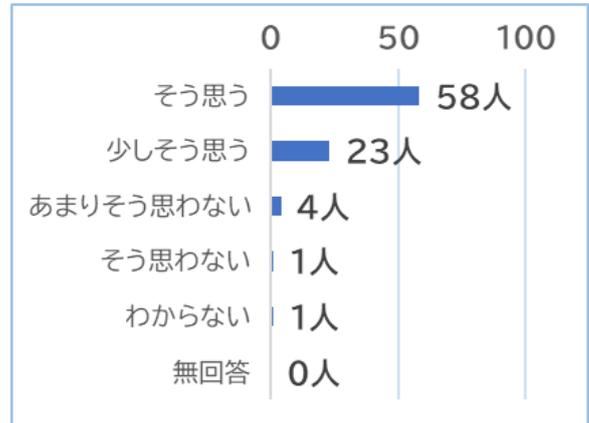
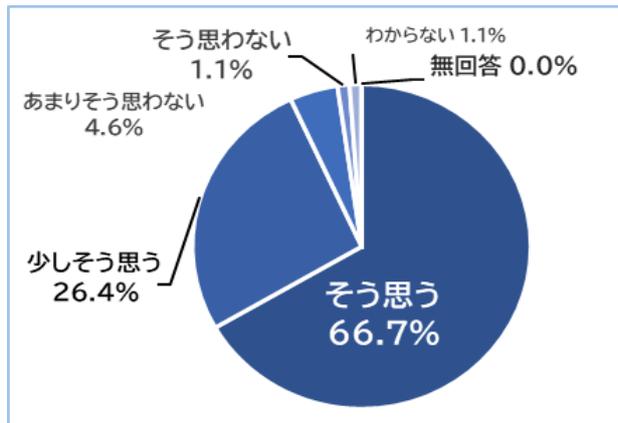
カ 質問や相談をしたときに、親切に対応している。



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて83.9%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は5.7%であった。

総合評価

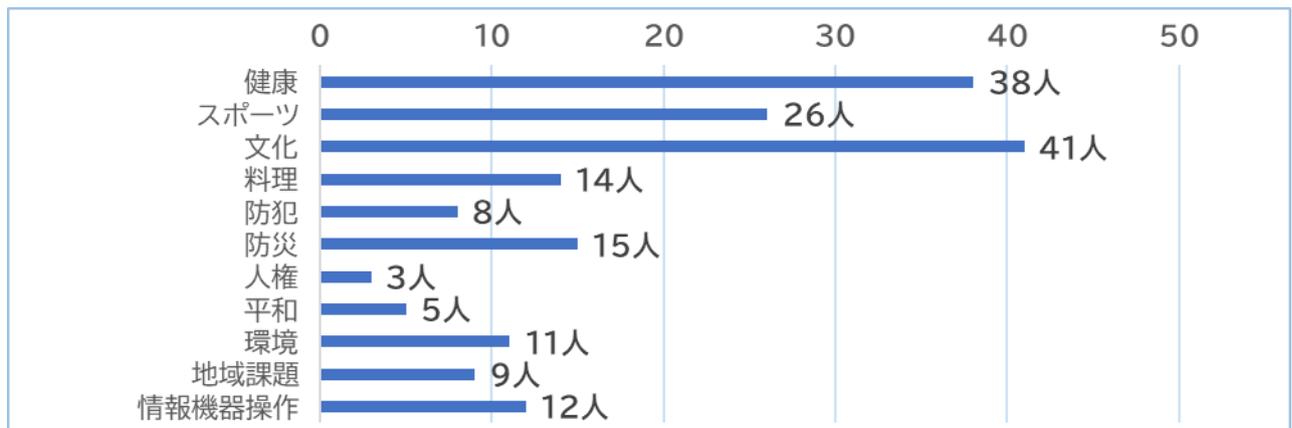
施設や設備、職員対応含めて総合的に満足している



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 93.1%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は 5.7%であった。

問 4 参加したい講座やイベントについて（複数回答可）

【回答数 182人（延べ）※無回答除く】



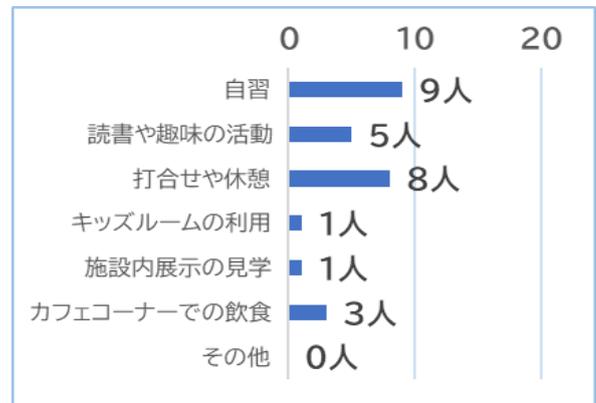
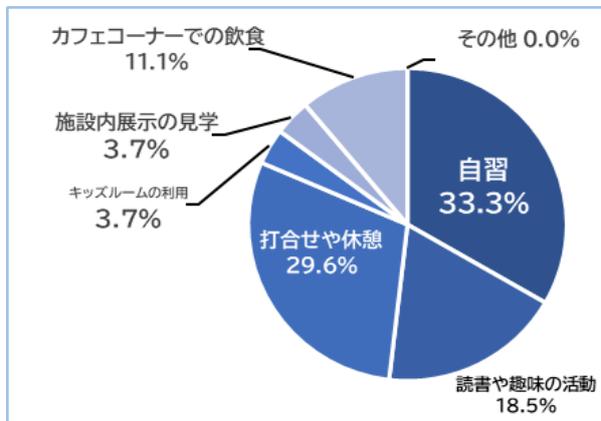
回答上位 5 項目は文化、健康、スポーツ、防災、料理であった。

また具体的に参加したい内容があれば詳述いただいた。主な記述回答は以下のとおり。

- ・情報機器やアプリケーション操作に関する講座（2 件）
- ・外国語講座（1 件）
- ・地域活性化に関する講座（1 件）

問5 オープンスペースの利用目的について（複数回答可）

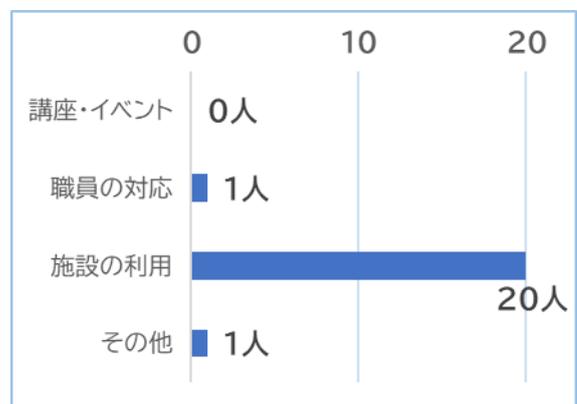
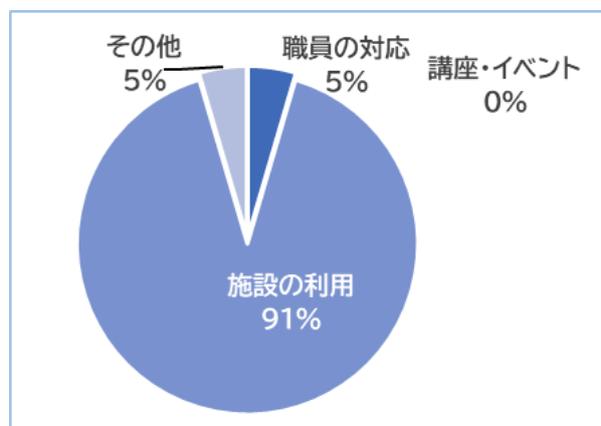
【回答数：27人（延べ）】



回答上位3項目は、「自習」が33.3%で最も多く、次いで、「打合せや休憩」が29.6%、「読書や趣味の活動」が18.5%となった。

問6 自由記入

【回答数：22人（延べ） ※無回答除く】



自由記入欄では合計で22件のご意見が寄せられた。

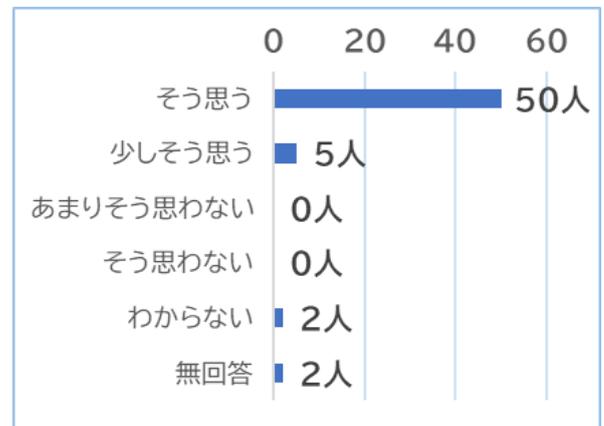
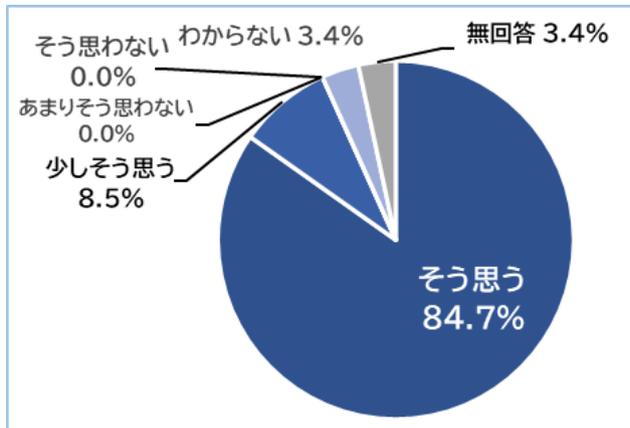
※具体的な意見等は、P14～P15 「Ⅲ 自由記入欄におけるご意見について」に記載

問7 サークル活動に関する質問について

これより先は、サークル活動をされている方を対象とした質問とその回答です。

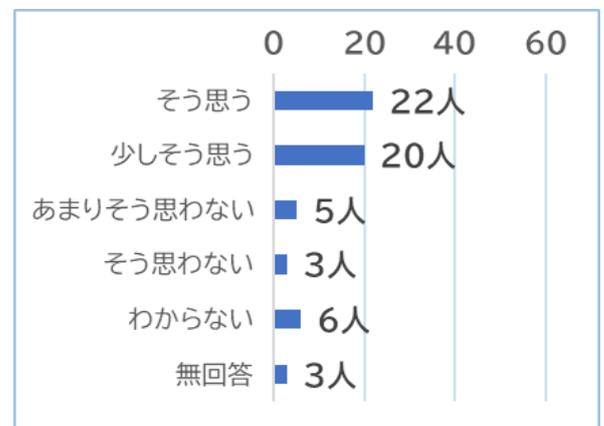
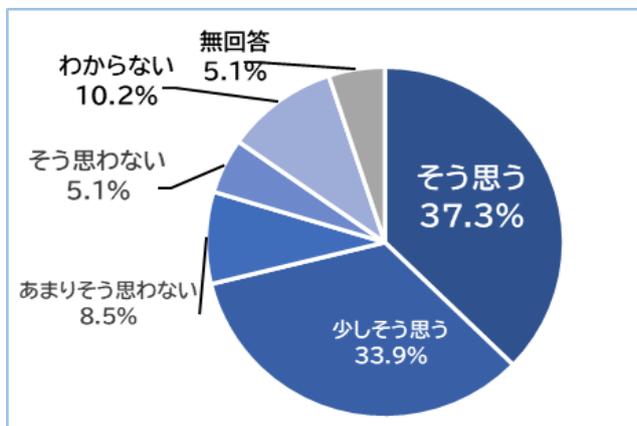
そのため、回答率は問1③（利用目的）において、「貸室でのサークル活動」と回答した人数（59人）を基に算出しています。

① サークル活動は、充実した生活を送る一助になっている



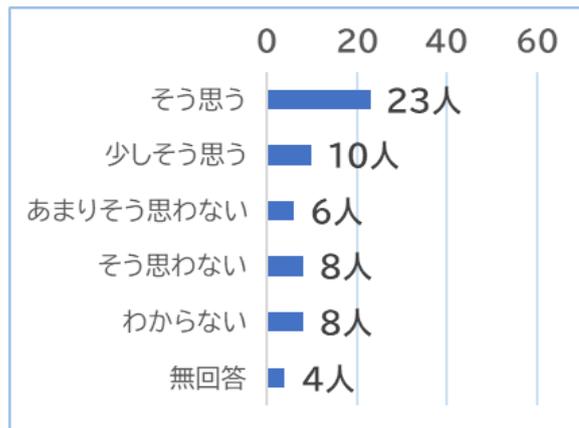
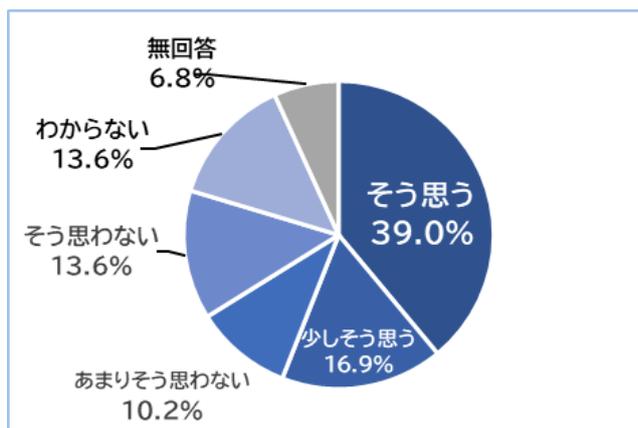
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて93.2%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は0%であった。

② 地域交流センター（公民館）はサークルの会員増や活性化、運営の円滑化のために、適切に助言や支援をしている



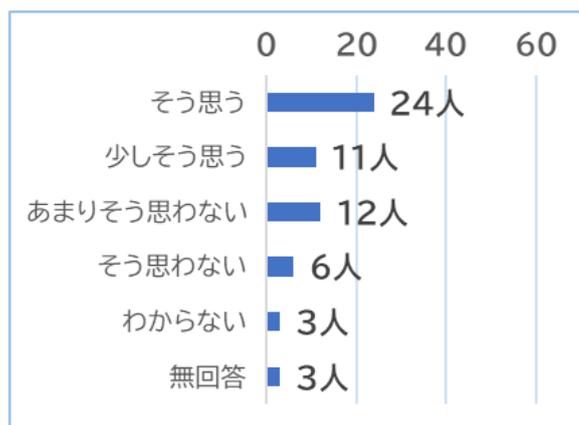
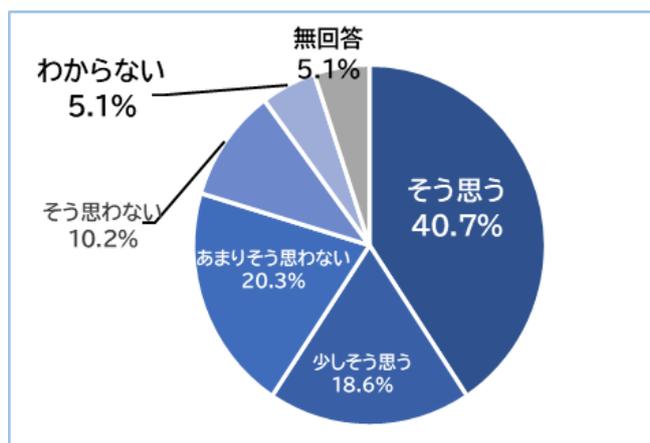
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて71.2%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は13.6%であった。

③ サークルで学んだことを、地域のために活かしている



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 55.9%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は 23.7%であった。

④ 今後、皆様の活動成果を展示やオンライン（ホームページや動画など）で発表する機会があったら参加を希望する



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 59.3%、対して「あまりそう思わない」「そう思わない」は 30.5%であった。

総括（分析と考察）

● 前提

今年度は、前年度と比較してアンケートの配布枚数を増加させた一方、回答率は大きく低下した。その結果、回答者の年齢構成や利用目的が前年度とは異なる傾向を示しており、本結果を読み解くにあたっては、回答者層の変化を踏まえた整理が必要である。

年齢構成では、19歳以下の割合が減少し、40～59歳を中心とした中高年層の割合が増加している。また、利用目的においては、貸室でのサークル活動やオープンスペースの長時間利用が減少し、会議出席や短時間の利用が相対的に増加している。これらのことから、今年度のアンケート結果は、比較的利用経験が多く、目的意識の高い利用者の声により反映されたものと考えられる。

このため、施設や職員対応に関する評価で「そう思う」が減少し、「少しそう思う」が増加している点についても、満足度の低下ではなく、利用者の視点がより具体化した結果として捉えることができる。

● 問2 広報や講座・イベントについて

紙媒体では「時々見る」が増加し、「見ない」が減少しているほか、ホームページやSNS、動画配信サービスの利用も拡大しており、情報に接触している利用者の割合は高まっている。

一方で、「時々見る」「時々参加する」といった中間的な回答が増えていることから、今後は情報の見せ方や発信方法を工夫し、参加促進につなげていくことが重要である。

● 問3 施設や設備、施設の利用、職員の対応について

施設・設備や職員対応については全体として肯定的な評価が多い一方、問6の自由記述では備品の配置や貸出方法、清掃状況、予約や利用ルールの周知、駐車場や料金改定に関する意見が寄せられた。これらは利用の定着や稼働率の高まりに伴い顕在化した課題であり、日常的な管理の徹底や運用面の工夫、丁寧な案内を行うことで、利用者の安心感と満足度の向上につなげていくことが重要である。

● 問4 参加したい講座やイベントについて

健康、文化、防災といった生活に密着した分野への関心が高く、環境や地域課題などへの関心も見られる。無回答が減少していることから、参加内容について具体的なイメージを持つ利用者が増えていることがうかがえる。

地域交流センターには、身近なテーマを通じて学びや交流を促す場としての役割が期待されている。

● 問5 オープンスペースの利用目的について

短時間利用に加え、読書や趣味、カフェコーナーでの飲食など、過ごし方の多様化が見られる。交流やくつろぎの場としての利用が徐々に広がっていることが特徴である。

特に今年度から日替わりでカフェコーナーに事業者が入るようになったことも踏まえて、事業者とも協同しながら、どの年代の方でも居心地よく過ごせる空間づくりを進める必要がある。

● 問7 サークル活動に関する質問について

サークル活動は生活の充実につながっており、地域交流センター活動の基盤として重要な役割を果たしている。一方で、支援の在り方や地域への還元については評価が分かれており、活動の成熟や多様化がうかがえる。

オンラインでの活動成果の発信に対する関心も高まっていることから、展示や発表の機会を設けるなど、地域とのつながりを広げる取組が今後の活性化につながると考えられる。

● まとめ

本アンケート結果から、地域交流センターは多様な世代に利用され、一定の評価を得ていることが確認できた。今後も利用者の声を運営改善や事業企画に活かし、地域に開かれた地域交流センターづくりを進めていきたい。